

住民意向調査速報版（富岡町・南相馬市）の公表について

原発事故による避難者等に対する住民意向調査について、富岡町、南相馬市の住民を対象とした調査結果を取りまとめました。

1. 調査概要

富岡町

調査主体	復興庁、福島県、富岡町
調査対象	世帯の代表者（6,093 世帯）
実施期間	令和 4 年 9 月 12 日～9 月 26 日
回答者数	2,545 世帯（回収率 41.8%）

南相馬市

調査主体	復興庁、福島県、南相馬市
調査対象	世帯の代表者（4,021 世帯）
実施期間	令和 4 年 9 月 20 日～10 月 4 日
回答者数	2,420 世帯（回収率 60.2%）

2. 調査結果のポイント

別紙 1 ～ 2 のとおり

本件連絡先 （原子力災害復興班）担当：星野、高橋 電話：03-6328-0250（直通）
--

富岡町調査結果のポイント

- ・ 将来の帰還意向やその判断の前提となる情報、帰還した場合に行政に望む支援等の把握を目的に実施。
- ・ 復興庁、福島県、富岡町の共同調査は 11 回目。

(1) 帰還の意向

既に富岡町で生活している	9.9% (9.5%)
戻りたいと考えている (将来的な希望も含む)	9.3% (9.5%)
戻りたいが、戻ることができない	16.8% (17.1%)
まだ判断がつかない	12.1% (13.0%)
戻らないと決めている	50.4% (49.3%)

※(カッコ)書きは、それぞれ前回調査(R3.8)結果

(2) 帰還を判断するために必要なこと (上位抜粋)

医療機関 (診療科) の拡充	57.9% (54.0%)
商業施設の充実	47.9% (45.5%)
どの程度の住民が戻るかの状況	36.6% (32.4%)
介護・福祉施設の充実	34.3% (33.2%)
防犯・防火対策の強化	20.7% (24.2%)

※帰還の意向で「まだ判断がつかない」と回答した方のみ回答

(3) 戻らないと決めている理由 (上位抜粋)

すでに生活基盤ができているから	62.9% (66.1%)
避難先の方が、生活利便性が高いから	42.7% (40.2%)
医療環境に不安があるから	30.7% (29.9%)
生活に必要な商業施設などが不足しているから	24.9% (23.1%)
原子力発電所の安全性に不安があるから	22.4% (23.6%)

※帰還の意向で「戻らないと決めている」と回答した方のみ回答

南相馬市調査結果のポイント

- ・ 将来の帰還意向やその判断の前提となる情報、帰還した場合に行政に望む支援等の把握を目的に実施。
- ・ 復興庁、福島県、南相馬市の共同調査は5回目。

(1) 帰還の意向

既に南相馬市に戻っている	66.3% (65.3%)
戻りたいと考えている (将来的な希望も含む)	4.4% (4.4%)
まだ判断がつかない	8.1% (8.7%)
戻らないと決めている	11.0% (11.9%)

※(カッコ)書きは、それぞれ前回調査(R3.11)結果

(2) 帰還を判断するために必要なこと (上位抜粋)

医療機関 (診療科) の状況	52.1% (53.5%)
商業施設の状況	39.4% (35.9%)
介護・福祉施設の状況	37.8% (38.7%)
有害鳥獣対策の強化	26.1% (19.4%)
どの程度の住民が戻るかの状況	23.4% (19.4%)

※帰還の意向で「まだ判断がつかない」と回答した方のみ回答

(3) 戻らないと決めている理由 (上位抜粋)

すでに恒久的住宅を取得したから	50.4% (55.4%)
すでに生活基盤ができているから	50.0% (53.7%)
避難先の方が、生活利便性が高いから	41.3% (40.9%)
医療環境に不安があるから	39.8% (41.6%)
原子力発電所の安全性に不安があるから	34.6% (34.6%)

※帰還の意向で「戻らないと決めている」と回答した方のみ回答